



ひとりひとりが輝く 萬歳っ子



学校だより第2号
旭市立萬歳小学校
令和4年5月24日発行

交通事故0の継続をめざして

新年度がスタートして約1ヶ月半以上が経過しました。この間、鈴木駐在さんをはじめ、旭警察署の方々、地区の安全協会の方々、PTA 校外指導部の7名の保護者、萬歳郵便局前で立って下さっている佐伯さんなど多くの方々に見守りをいただきました。

そのおかげもあり、本校では、交通事故0が継続されています。しかし、これからも油断はできません。全国的な統計では5月が1年で最も登下校での交通事故が多い月だそうです。

慣れた頃が危ないともよく言われます。ちょうど、登下校に慣れてきた頃ですので、今後も交通事故防止のための取組を重ねていきます。

登下校の見守りと共に取組の中核は、集団登下校です。集団登下校時の道路の歩き方などを定期的に指導していきます。

集団登下校は、保護者の協力、班長などの上級生のリーダーシップにより、成り立つものです。今後とも、保護者、地域の皆様のご協力をお願いします。

【登校班の班長紹介】

1区	さん	(6年)
2区	さん	(6年)
3区	さん	(6年)
4区	さん	(6年)
関戸区	さん	(6年)
櫻井区	さん	(6年)
溝原区	さん	(6年)



さつまいもの苗を定植しました



5月11日(水)生活科の学習として、JA ちばみどりの方と JA ひかた青年部の方が来校し、2年生の児童にさつまいもの定植を指導して下さいました。

「畑の先生」に教えていただきながら、楽しく定植をしました。10月頃の収穫が楽しみです。

【2年児童の感想】

● さん
はじめに、わりばしをさしてなえをあなに入れました。ぎゅっと土をかぶせました。(土の)おふとんがあったたかったです。大きくそだってほしいと思いました。

● さん
さつまいものなえをうえたら、なえはとっても小さかったです。小さくてとてもかわいかったです。おいしいさつまいもがとれるようにがんばります。

市小学校体育大会が開催されました

5月18日(水)東総運動場で第17回旭市小学校体育大会が行われました。本校児童19名が出場し、7名の入賞者(8位内入賞)を出すことができました。

今年度は、練習期間中、雨の日が多く、練習が思うようにできない中で児童はたいへんがんばりました。

当日は、テントの設営や片付けをPTA 本部役員、6年生の保護者の皆様が担って下さいました。ありがとうございました。

【大会入賞児童】

1000M走	6男	第2位	さん	走り幅跳び	5、6年男	第3位	さん
60Mハードル走	6女	第2位	さん			第7位	さん
	6男	第4位	さん			5、6年女	第6位
	5女	第7位	さん			～入賞おめでとうございます～	さん



1～3年保護者の皆様、奉仕作業にご協力ありがとうございました

5月21日(土)9時より11時までPTA奉仕作業が実施されました。1～3年生の保護者、本部役員、萬歳小職員の総勢約40人で校庭や体育館周り、学校の南側の傾斜地のフェンス際等の草刈りを行いました。刈り払い機十数台での作業により、予定よりも作業が進みました。

参加者の皆さんのおかげで6月4日の運動会に向けて、環境が整いました。

参加して下さった方々、ありがとうございました。



傾斜地での作業の様子



運動場脇の雑草もなくなりました。

いじめ防止の基本方針を見直し、取り組みました

4月は、県の条例で定められたいじめ防止啓発強化月間でした。本校では、各学級でいじめを見逃さない、いじめは許さない、いじめとはどんなことを指すのかなど、いじめについての指導を各学級で行いました。

また、早期発見を目的に児童全員を対象にいじめアンケート調査を4月20日、21日に実施しました。アンケートに記入されたことは調査して対応しました。

改めて、昨年度の学校評価アンケートでのいじめに関わる項目の結果を振り返ります。<令和4年1月末調査>



保健室前の児童用相談ポスト

○保護者の回答結果

「学校は、いじめの防止や早期発見に十分努めていると思いますか」 R3 79.1% (R2, 77.9%)

○児童の回答結果

「みんながなかよく楽しく生活しています。いじめはありません」 R3 89.5% (R2 88.1%)

今後も、日々の日常観察を丁寧に行い、いじめの早期発見、早期対応を図っていきます。

今年度の家庭学習への取り組みについて その1

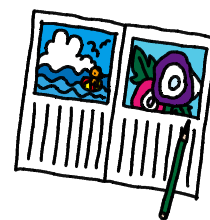
家庭学習をする意義は、大きく2つあります。

- 1 家庭学習をすると学習したことを理解したり、定着したりすることが向上します。
- 2 家庭学習をする習慣が身につくと学習する意欲が高まったり、自分で学ぶ力が育ったりします。

学校で学習する読み・書き・計算・漢字などの基礎内容は、学年が上がるにつれて多くなります。子ども達は、復習したり活用したりしなければ、十分な習得が図られにくくなります。

今日の教育は、思考力や判断力、表現力の育成を重視していますが、土台となる基礎内容の習得の重要性は変わりません。学校と家庭が連携して、家庭学習の中で復習することで基礎内容の習得が向上します。

今年度の学校の取組について、お伝えします。



■本年度の基礎学力の習得と家庭学習の習慣化を図る手立て■

- 1 10分間の朝自習と読書の時間を設定。(火・木 ドリルタイム、水・金 読書タイム)
- 2 毎週月曜日は、給食と昼休みの間に「萬歳タイム」(20分間)を設定
○原則、隔週で主に漢字や計算などの検定を実施・・・習得状況を評価
※ 月に1回は全校遊びの時間として、20分+15分のロングの休み時間を設定
- 3 家庭学習カードを活用して、家庭と連携し、児童の家庭学習の習慣化を推進

すでに上記の取組については、スタートしています。ご家庭のご協力をお願いします。

